



石井 正三氏

ロシアの侵略によるウクライナ戦争が、ますます激しくなってきた。

作曲家ドミートリイ・ショスタコーヴィチは、ロシア革命からソビエト連邦時代、世界大戦を二度経験し、二十世紀を生き、生涯に交響曲と弦楽四重奏曲を十五曲ずつ作曲した。

第二次世界大戦中、ドイツの猛攻をしのいだレニングラード攻防戦を描いた交響曲第七番「レニングラード」はインパクトが大きく、二十世

紀を代表するシンフォニストと評された。

しかし、ソ連内で社会主義レアリズム芸術を代表する作曲家とされる一方、特に弦楽四重奏曲において個人の自由やヒューマニズムに対する圧政の時代へ複雑な心情を吐露したと感ぜられる。

二十一世紀の未来予測ではIT（情報技術）の進歩が社会のあり方を変えるIoTという、人とモノ・モノ同士が繋がる本格的デジタル社会の到来が語られた。

交通網が発達して移動が楽になり、情報化社会の発展によりウイズコロナで一層テレワークが進む。ロボット技術が単純労働を減らし、その先には国民が労働の有無にかかわらず、ベーシックインカムという給付金で暮らせるようになる、とか。

力の激突、人類破滅に

交響曲第七番 20世紀を代表

確かに進んだ分野もあるが、いかんせん平和の祭典、北京オリンピック&パラリンピック中にロシアがウクライナに攻め込んでしまった。

歴史をみると、極東で日本が幕末のころ、一八五三年から五六年にクリミア戦争がある。英仏トルコなど同盟軍と、ロシアらがクリミア半島を巡り世界各地で非人道的な殺戮戦となり、フロレンス・ナイチンゲールらが英国から従軍看護婦（師）活動を始め、結果として近代看護学が確立されることになった。

戦火、古代から続く

医師には古代ギリシャのヒポクラテスの誓いが、そして看護師のこのナイチンゲール精神は、いわき市医師会附属いわき准看護学校でも人道主義の象徴として受け継がれている。

戦地の傷病者や捕虜を敵味方の区別なく救護する人道的戦時国際法として一八六四年、ジュネーブ条約が結ばれ、各国で赤十字社がスタートした。

この戦争の与えたインパクトの大きさが想像できる。イスラム教国ではこの赤十字社の概念がキリスト教的であるからか、赤新月社と呼ばれ、別なシンボルマークが使われている。

古代から領有を巡って戦いの絶えなかつたウクライナやその周辺地域では、遊牧民の馬と農耕民族の小麦が近いところであり、その両者が結びつくことでヨーロッパの国家形成モデルになったと指摘したのは人類学者レヴィ・ストロースと記憶している。

移動と農耕も支える馬は騎馬民族の必需品、支配地の多くの領民を養う小麦は農耕定住民族の財産。遊牧民と定住農民という二つの生き方と価値観の、大きな緊張関係の中の共存状態だろうと想像する。

世界医師会の交流で、外交交渉と戦争はカードの裏表の関係という欧米流思考を聞いた。ウクライナは第二次大戦でも主戦場だった。

核兵器を持ったまま分離独立したウクライナなどを巡



ショスタコーヴィチ（表紙）による「ヴィオラ ソナタ」（日本ビクター/メロディア盤）＝石井氏提供

り、核不拡散のため核兵器をロシアに返還させる一九九四年の「ブダペスト覚書」、二〇一四年、ロシアがクリミア半島を武力併合し、ウクライナ東部二州一部を親ロシア武装勢力が占拠、一五年に「ミンスク合意」停戦協定、そして今年、ロシア軍が大規模に侵攻するウクライナ戦争が起こった。

は、人種や宗教、文化の全とつかえにも結びつくリスクがあり、安易な妥協や降伏が存続を囿る賢明な方法と言えるわけでもない。

力と力の激突・殺戮をセツトで交渉を優位に進めるといふ古来の方法論が、全面核戦争に発展すれば人類の破滅に繋がるという、危うさの上で繰り広げられている。万人にとつて無関心でいられるはずがない。

一九八九年、ベルリンの壁崩壊。ヨーロッパ脳神経外科学会が翌年ベルリンで開かれ、演題発表に出席した。撤退したばかりのソ連軍が残っていた勲章や鉄兜、壁のかけらなどが道端で売られていた。

露の民主化見ず死亡

壁のなくなった街でハンガリーの友人と再会を喜び合っている、ブランデンブルグ門から旧東ベルリン側オペラハウスのベートーベンのオペラ「フィデリオ」で、囚人解放の場面に圧政から解放された時代の気分を味わった。

ショスタコーヴィチ最後の完成作、ピオラソナタのLPレコードを鳴らしてみる。死を覚悟した作曲家の陰鬱な気分が第一楽章と第三楽章にあふれ、踊りのリズムが出てくる第二楽章でも若い時の跳ね回るエネルギーにはならない遺書。七五年、作曲家はソ連崩壊やロシアの民主化を見ずに亡くなった。

ロシア人と少し近しくなる、日本の落語に近いような、少し皮肉がこもりニヤリとするような小噺や寓話の語りを出してくる。このソナタでも、ベートーベンの運命のリズムや月光ソナタの音型が引用され、物言いたげな場面がある。抑圧と人間性の相剋がロシア的な多義性の中で表現され、西側社会でも行き着いた人間性の喪失感をえぐっている。

人類の地上の存続がロシア的な思考に委ねられている現状、闘争本能の後ろから理性や人道主義が力を得てほしいと願うばかりだ。

筆者プロフィール

石井 正三

(いしい・まさみ)

地域医療連携推進法人医療戦略研究所所長・代表理事、長崎大学客員教授、ハーバード公衆衛生大学院名誉武見フェロー、東日本国際大学健康社会戦略研究所所長・客員教授、医療法人社団正風会理事長



総物流通社

地域一番の成長企業を目指す!



いわき建設運輸有限会社

代表取締役 吉田司 □ <http://kensetsu-unyu.jp/>
 本社営業所 〒979-0202 いわき市四倉町上仁井田折敷田3-1
 TEL(0246)32-6909 FAX(0246)32-7099
 大剣営業所 〒971-8183 いわき市泉町下川字大剣1-159
 TEL(0246)96-6444 FAX(0246)96-6499

県内運送業界初! 内閣府所管保育園

いわけん保育園

BooBoo ガーデン

【保育時間】7:00~20:00(日祝休)

いわき市小名浜字吹松8-5

TEL(0246)38-7862

【電話受付時間】9:00~17:00(日祝休) □ <https://iwaken-hoiku.jp/>

0~2歳児の見学・入園お待ちしています♪



保育園2階に併設

運転手や従業員、提携企業には優遇利用制度があります。

児童発達支援・放課後等デイサービス

いわけんキッズクラブ(いわけん保育園 2階)

TEL(0246)38-7332 【電話受付時間】平日 10:00~18:00

□ <https://www.iwaken-kidsclub.jp/>

正社員ドライバー募集中!

会社見学も実施中です。一緒に働いてみませんか?

提携企業様も募集中!

社員のお子さまをお預かりいたします。